

資料 2

計画の目標

環境施策全般

各計画（環境基本計画、環境モデル都市アクションプラン、SDGs 未来都市計画）で掲げている環境施策の数値目標をまとめ、以下に示します。

市域における数値目標

（※については 2019 年度以前の直近の値）

項目	基準年	目標数値				2019 年度 実績値
		2020 年度	2023 年度	2030 年度	2050 年度	
温室効果ガス排出量 削減率	平成 18(2006)年度	17.5% 26.8 万 t-CO ₂	22.75% 25.1 万 t-CO ₂	35%	70%	※ 29.8 万 t-CO ₂
緑地面積の割合	平成 29(2017)年度	47.88%	47.9%	—	—	47.87%
遊休農地活用事業で利 用されている農地面積	平成 29(2017)年度	54,285 m ²	55,689 m ²	—	—	50,406 m ²
下水道普及率	平成 29(2017)年度	72%	73.5%	—	—	71.4%
再資源化率	平成 29(2017)年度	24.3%	28.8%	—	—	22.1%
家庭系燃えるごみの 1 人 1 日あたり排出量	平成 29(2017)年度	421 g	405 g	—	—	432.5 g
再エネによる発電容量 合計	平成 29(2017)年度	30,195 k W	35,145 k W	—	—	※26,340 k W
1 人あたり C O ₂ 排出 量	平成 29(2017)年度	2.29t-CO ₂	2.16 t-CO ₂	—	—	※2.47t-CO ₂
資源循環コミュニティ ステーションの設置	令和 2 年(2020)度	1 ケ所	2 ケ所	—	—	—

事業における環境配慮（エコオフィス）

事務事業における環境配慮（エコオフィス）の目標は、市域全体の温室効果ガス削減に貢献できるよう、率先した数値を以下のように設定しています。年度ごとの公共施設を取り巻く状況に応じて、2019年度を基準に2030年度までに11%削減する。

公共施設における数値目標

目的	項目	令和2(2020)年度 目標	
地球温暖化の防止	二酸化炭素排出量の削減		二酸化炭素排出量を令和元年度(2019)年度比で1%以上削減する。 (令和元年度排出量：17,029t-CO ₂)
	電気使用量の削減		
	公用車	ガソリン	
		軽油	
	燃料	都市ガス	
		重油	
		灯油	
		LPG	
循環型社会の構築	ごみ排出量	ごみの排出量を令和元年度(2019)年度比で増加させない。	
健全な水循環	水使用量	水使用量を令和元(2019)年度比で増加させない。 (令和元(2019)年度実績：216,784 m ³)	